

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	姫島こども園 (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和8年1月26日		令和8年2月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年2月16日		2026年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども、利用児主体の考えのもと、保護者の相談に力を入れており、定期的なグループ相談や個別相談、親子通園時の担任との会話で、保護者の悩みに丁寧に寄り添っている。	・登園された際に保護者の方々から最近の家庭や学校の様子などを確認し、本人の様子と照らし合わせ本人を理解する。	・学齢期に向けたセミナーや、学校卒業後を見越したセミナーや学習会などを企画し、保護者の将来への不安や、成人期に向けた準備などを一緒に考えていく。
2	・子どもの発達や育ちについて、目に見える能力面だけでなく、子どもの心(意思、感情、情緒の安定)にも注目し、子どもを取り巻く家族や学校等の環境面にも注目して支援している。また、子どもの発達や興味関心に合わせた個々の活動設定や、一人一人に寄り添った聞き取りや相談に力を入れている。	・個別支援計画を作成する前に、保護者と面談し、子どもの成長や課題について丁寧に振り返りをしている。家族のニーズを細やかに聞きとって対応している。	・引き続き、子どもの能力面だけでなく、家族が前向きに子育てに臨めるよう、人間関係・知情意の全体に着目した支援を行う。
3	・定期的な家族で楽しめるイベントの企画や、子どもたちの興味に合わせた外出などを企画している。また、自立支援協議会とも連携し、地域の事業所との交流などにも意識して外出している。	・家族間でのつながりがうまれる取り組み。	・放課後等デイサービスを利用している家族は、他の曜日利用の家族とのかかわりが希薄なため、意識的に交流機会を設ける。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・建物の老朽化もあるが、あちこちで建付けが悪くなっている。また、建物が広く掃除の手が足りない場合がある。	・建物や器具の老朽化 ・職員の体制上、掃除の時間がとりにくい ・大型マット等の清掃しにくい遊具が多い	・定期的な安全のための点検、補修 ・玩具の清潔で適切な管理 ・園内の細やかな清掃
2	・連絡手段の幅が狭く、地域の学校や他事業所のようなICT化が整備されていない。非常災害時や避難訓練時の伝達に一斉連絡ができない等が挙げられる。	・ICT化の不足	・今後の通信手段の検討 ・新しいツールの確保
3	・個々のニーズに合わせた支援を行う上で、人員配置が手薄な部分が見られている。	・職員の休職などで、人手に余裕がない	・ケース討議、クラス討議で集団の見方を検討する ・人材確保に努める